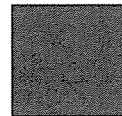


様式第1号（第2条関係）

令和 5年10月 2日

恵那市長
小坂 喬 峰 様
(恵那市議会議長経由)

恵那市議会議員 後 藤 康 司



交付請求書

恵那市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、下記のとおり請求
します。

記

政務活動費請求金額 43,092円

ただし、 令和 5年 4月分 ～ 令和 5年 9月分

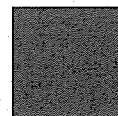


様式第2号(第2条関係)

令和 5年 9月15日

恵那市議会議員
千 藤 安 雄 様

恵那市議会議員 後 藤 康 司



収支報告書

恵那市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、令和 5年 4月
分～令和 5年 9月分に係る政務活動費収支報告書を提出します。

記

1 収 入

政務活動費 43,092 円

2 支 出

単位：円

項 目	支 出 額	備 考
調 査 研 究 費	43,092	
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
合 計	43,092	

議 員 名 後 藤 康 司

單位(円)【 1- 1 】

日 付		整理番 号	条例別表の 項目名	摘要	領収額	政務活動費充 当額	支出可能額 (残)
5	31	1	調査研究費	3日間のバス代	29,592	29,592	90,408
5	16	2	調査研究費	5/16宿泊代	12,460	6,300	84,108
	17	2	調査研究費	5/17宿泊代	7,200	7,200	76,908
							0
							0
							0
							0
							0
							0
							0
							0
							0
							0
							0
							0
							0
							0
合 計					49,252	43,092	76,908

注 この会計帳簿に記載する整理番号及び政務活動費充当額は、領収書貼付用紙の記載した整理番号及び政務活動費充当額と一致する。

様式第5号 (第5条関係)

領収書貼付用紙

年 度	令和 5 年度	項 目	調査研究費		
整 理 番 号	2	議員名	後 藤 康 司		
支出の按分の状況	(按分の内容) 総額のうち朝食代を除く宿泊費のみ計上 5/16(12,460円—朝食660円—夕食5,500=6,300円) 5/17(7,200円:食事を控除済み)				
	(按分率) 13,500/19,660= 0.6866	(政務活動費充当額) 13,500円 (6,300円+7,200円)			
領収書の補足説明	5月16日～5月18日行政視察における宿泊代				
領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄					

領 収 証

日付 令和5年5月16日

印
紙

御芳名

後藤 康司 様

庄原グランドホテル
SHOBARA GRAND HOTEL

金 額 ￥12,460-

〒727-0013

広島県庄原市西本町二丁目16番5号

TEL (0824) 72-6789

摘 要

ご宿泊代として

(金額を訂正したものと及び社印取扱者名なきものは無効)

取扱者 富岡

No. 16852-1

領収書

お 名 前 (Name)

RECEIPT

後藤 康司

様

予約金・前受金 Advance	クーポン Coupon	クレジット Card
7,200		
売掛金 Credit	ご返金 Repayment	領収額 Receipt
		0



TOYOOKA SKY HOTEL

豊岡スカイホテル

〒668-0024 兵庫県豊岡市寿町9-5

TEL: 0796-22-4411 FAX: 0796-22-4412

発行月日 (Issue)

2023/05/17



(内消費税 ￥654/内軽減税 ￥0)

様式第5号（第5条関係）

領収書貼付用紙

年 度	令和 5 年度	項 目	調査研究費
整 理 番 号	1	議員名	後 藤 康 司
支出の按分の状況	(按分の内容) 2日間で、研修・視察を実施し、すべてを政務活動とし、按分率を100%とした。 (29,592円×1.0=29,592円)		
	(按分率)	(政務活動費充当額)	
	100%	29,592円	
領収書の補足説明	5/16～5/18 行政視察におけるバス代 (貸切バス代、高速道路料金、乗務員宿泊代、乗務員食事代)		
領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄			

領 収 証

No. 0001251

25 年 5 月 3 日

後藤 康 司 様

金額	百万		千			円
	4	2	9	5	9	2

収 入
印 紙

但し ☐ バス代金として ☐ ツアー代金として
☐ 旅行代金として ☒ その他(研修会交通費)

上記金額正に領収いたしました

内訳
税抜金額
消費税額 (%)



ごとう観光バス
Goto kanko bus

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町 2729-401
TEL 0573-26-1253 FAX 0573-26-1405
URL: http://510bus.com

取扱者

--	--

様式第4号(手引き第4章関係)

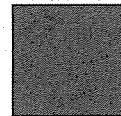
(本人作成書類)

令和 5 年 5 月 1 5 日

恵那市議会議長

千 藤 安 雄 様

恵那市議会議員 後 藤 康 司



研修・視察等届出書

恵那市議会政務活動費運用の手引きの規定により、研修・視察等届出書を提出します。

記

日程	令和5年5月16日 ～令和5年5月18日
出張者	鵜飼伸幸、堀 光明、伊藤勝彦、服部紀史、後藤康司、千藤安雄 西尾 努、柘植孝彦、太田敦之、林 貴光、町野道明、山内敏敬 (12名)
用務地	岡山県奈義町 岡山県真庭市 島根県美郷町 兵庫県豊岡市
用務内容	岡山県奈義町…少子化対策「町全体での子育て」 岡山県真庭市…SDGsの取組「里山資本主義」の実践 島根県美郷町…ジビエによるまちおこしの実践「美郷バレー構想」 兵庫県豊岡市…移住定住対策、観光DXの実践 いずれの視察内容も恵那市の課題であり、今回の視察により、今後の恵那市の市政や施策並びに事業展開に生かすためのものである。



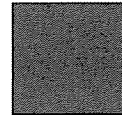
様式第4号（第4条関係）

令和5年5月22日

恵那市議会議員

千藤 安雄 様

恵那市議会議員 後 藤 康 司

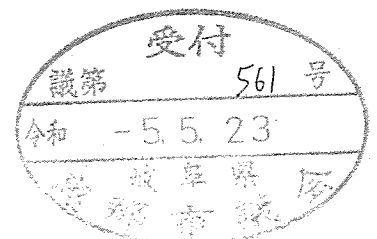


研修視察等報告書

恵那市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- 1 期 間 令和5年5月16日 ～ 令和5年5月18日
- 2 研修視察先
 - 1日目…岡山県奈義町 「少子化対策～町全体での子育て～」
こども・長寿課 副参事 小坂 正平様
岡山県真庭市 「地方創生応援税制大臣表彰の取組」
・「里山資本主義」真庭の挑戦～SDGsの実践～
・企業版ふるさと納税（人材派遣型）
総合政策部総合政策課 係長 古南 武永様
 - 2日目…島根県美郷町 「ジビエでまちおこしと美郷バレー構想」
美郷バレー課 課長 安田 亮様
 - 3日目…兵庫県豊岡市 「移住定住施策と観光DX～城崎温泉から」
くらし創造部地域づくり課移住定住・若者係 沖中 正孝様
観光文化部観光政策課 課長 宮垣 均様
- 3 研修視察名
有志議員による、恵那市の課題である少子化対策、獣害対策、観光施策について、先進地域の取組を視察することによって、今後の恵那市の市政及び事業に生かすよう研修を行った。
- 4 研修視察者
鶴飼伸幸、堀 光明、伊藤勝彦、服部紀史、後藤康司、千藤安雄
西尾 努、柘植孝彦、太田敦之、林 貴光、町野道明、山内敏敬、（12名）
- 5 概 要
 - 1日目…岡山県奈義町、岡山県真庭市においての事業説明
 - 2日目…島根県美郷町においての事業説明並びに視察
 - 3日目…兵庫県豊岡市においての事業説明
- 6 効 果
別紙報告書を参照ください。



様式第1号(手引き第3章関係)

(本人作成書類)

令和5年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 後 藤 康 司

1. 会の名称	恵那市議会 有志(新政会及び無会派議員)
2. 開催日時	令和5年5月16日 13時00分 ～ 14時30分
3. 会場	岡山県奈義町 奈義町役場
4. 参加議員名	鵜飼伸幸、堀 光明、伊藤勝彦、服部紀史、後藤康司 千藤安雄、西尾 努、柘植孝彦、太田敦之、林 貴光、 町野道明、山内敏敬
5. 参加人数	12人
6. 内容(目的)	恵那市の大きな課題である少子化対策について、町全体で子育てを行い、令和元年の合計特殊出生率「2.95」を実現するという実績をあげている町の実績について視察を行い、恵那市の取組に生かすため。 【説明の内容】 1. 奈義町について 2. 子育て応援宣言 3. 子育て支援施策 ・子育て関連施設 ・しごとコンビニ事業 ・主な経済的支援 ・企業誘致～住宅の整備～

注1 関係書類を添付すること。

注2 事業毎に別様として作成すること。

様式第1号(手引き第3章関係)

(本人作成書類)

令和5年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 後 藤 康 司

1. 会の名称	恵那市議会 有志(新政会及び無会派議員)
2. 開催日時	令和5年5月16日 15時30分 ～ 17時00分
3. 会場	真庭市役所 4階会議室
4. 参加議員名	鵜飼伸幸、堀 光明、伊藤勝彦、服部紀史、後藤康司、 千藤安雄、西尾 努、柘植孝彦、太田敦之、林 貴光、 町野道明、 山内敏敬
5. 参加人数	12人
6. 内容(目的)	恵那市が昨年度から取り組んでいるSDGs未来都市について、以前から森林という地域資源を生かした先進的な取組を行っているから真庭市のSDGsの取組、さらには企業版ふるさと納税(人材派遣型)の取組について、視察を行うことにより、今後の恵那市の事業展開に生かすようにする。 【説明の内容】 1. 真庭市の姿 2. 多彩で循環性のある持続可能なまち 3. 生活しやすく品格のある都市 4. 新たな取組 5. 企業版ふるさと納税(人材派遣型) 6. むすび～日本の農山村のモデルを目指して～

注1 関係書類を添付すること。

注2 事業毎に別様として作成すること。

様式第 1 号 (手引き第 3 章関係)

(本人作成書類)

令和 5 年度 恵那市議会政務活動費実施 (参加) 記録書

議員名 後 藤 康 司

1. 会の名称	恵那市議会 有志 (新政会及び無会派議員)
2. 開催日時	令和 5 年 5 月 1 7 日 1 0 時 0 0 分 ~ 1 1 時 3 0 分
3. 会場	みさと館 3 階多目的室
4. 参加議員名	鵜飼伸幸、堀 光明、伊藤勝彦、服部紀史、後藤康司、 千藤安雄、西尾 努、柘植孝彦、太田敦之、林 貴光、 町野道明、 山内敏敬
5. 参加人数	1 2 人
6. 内容 (目的)	恵那市の課題の一つである獣害対策と本年度から事業展開が開始される (株) 恵那ジビエのブランド化に向けて、最先端の取組を行っている美郷町の取組について視察することによって、今後の恵那市の事業展開に生かすようにする。 【説明の内容】 1. おおち山くじら物語～第 1 章から第 5 章～ 2. 美郷町の人口減少対策 3. 美郷バレー構想 【視察】 野生鳥獣の皮革によるクラフト制作

注 1 関係書類を添付すること。

注 2 事業毎に別様として作成すること。

様式第 1 号 (手引き第 3 章関係)

(本人作成書類)

令和 5 年度 恵那市議会政務活動費実施 (参加) 記録書

議員名 後 藤 康 司

1. 会の名称	恵那市議会 有志 (新政会及び無会派議員)
2. 開催日時	令和 5 年 5 月 1 8 日 9 時 3 0 分 ～ 1 0 時 5 5 分
3. 会場	豊岡市役所第 3 委員会室
4. 参加議員名	鵜飼伸幸、堀 光明、伊藤勝彦、服部紀史、後藤康司、 千藤安雄、西尾 努、柘植孝彦、太田敦之、林 貴光、 町野道明、 山内敏敬
5. 参加人数	1 2 人
6. 内容 (目的)	恵那市の課題である少子化対策、なかでも移住定住施策、さらには本市が力を入れている観光施策について、先進的・特徴的な取組について、視察をすることによって、今後の恵那市の事業展開に生かすようにする。 【説明の内容】 1. 豊岡市の移住定住施策 2. 豊岡市の観光施策 ・豊岡観光イノベーション ・豊岡観光 DX の取組 ・演劇のまちづくり

注 1 関係書類を添付すること。

注 2 事業毎に別様として作成すること。

研修視察報告書

研修日：令和 5年 5月16日 ～ 5月18日

- 5月16日 岡山県奈義町
「 少子化対策：町全体での子育て 」
- 岡山県真庭市
「 里山資本主義・企業版ふるさと納税 」
- 5月17日 島根県美郷町
「 美郷バレー構想・ジビエでまちおこし 」
- 5月18日 兵庫県豊岡市
「 移住定住施策・観光 DX 」

岡山県奈義町 「 少子化対策：町全体での子育て 」

- 奈義町の概要

平成の合併では、合併の移行を問う住民投票を行い「単独町政」を決定。

*投票率 約75%（内 約70%が合併しないを選択）

自衛隊駐屯地がある（日本原駐屯地：日本原演習場 11.94k m²）

中心部から半径2kmに人口の8割が定住するコンパクトシティ

- 課題と目標

課 題 ：人口減少・少子高齢化 2020/人口 5,578 人（高齢者率 35.5%）

↓

定住促進のための

- ・子育て支援策（産み育てる環境）
- ・住宅施策（住む環境）
- ・魅力ある教育
- ・就労の場の確保施策（働く環境）

↓

目 標 ：現在の人口維持 2060/人口 2,809 人（高齢者率 43.5%）

- 住民への周知

- ・少子化対策は子育て世代だけの問題ではない。
- ・課題を住民と一緒に考える。
- ・少子化対策は最大の高齢者福祉

- 町議会からの提案により「奈義町子育て応援宣言」を平成24年4月に発表。

↓

高い合計特殊出生数を達成（若者定住施策・就労対策・独自の子育て施策）

令和元年度：合計特殊出生数 = 2.95を達成

- 各種町での施策

なぎチャイルドホーム ：子育て世代が気軽に通える施設。

しごとコンビニ事業	: ちょっとしたお手伝いや手助け。
奈義しごとえん	: 町民で法人化を行い、町の中のいろんな仕事を受ける。
子供の見守り「こもりん」	: 大人が交代制で子ども達を見守る仕組み。
経済的な支援	: 高校生の就学支援として年額 240,000 円の支援など。
働く仕事の提供	: 工業団地（全 16 社立地 約 800 名が就労。）
住む場所の提供	: 若者住宅 3 か所 21 戸、定住促進住宅 1 か所 60 戸。
分譲住宅の整備	: 6 団地 87 区画（民間開発が行われない。）
ナギフトカード	: 多世代共生型電子カード。（全町民所持）

* 令和 5 年 2 月 19 日、岸田総理大臣・小倉こども政策担当大臣・伊原木岡山県知事・岡山県選出国會議員らが奈義町を訪問し「なぎチャイルドホーム」「奈義しごとえん」などを視察。

* 恵那市としても工業団地や住宅施策などは、同じように行っているが子育て世代への支援策としてはもっと思い切った内容で取り組んでも良いと考える。

岡山県真庭市 「里山資本主義・企業版ふるさと納税」

○ 真庭市の概要

2005 年 3 月 31 日、9 町村が合併し「真庭市」誕生。
 多彩制を生かした広域行政を推進し、「ひとつの真庭」として自立。
 面積 828km²（山林 79%） 人口 42,102 人
 西日本有数の木材集散地域、日本最大のジャージー牛の酪農地帯

真庭市の姿

森林面積 65,438ha 林業事業体 20 社 製材所 約 30 社

○ 里山資本主義 真庭の挑戦

・ 多彩で循環性のある持続可能なまち

① 地域資源を生かした「回る経済」を確立する

地域資源（農林畜産業・森林・川・里山文化）+「住民の力」→バイオマス産業のまち

バイオマス産業杜社の推進 ⇒ 木質バイオマス発電所

↓

発電能力 10,000kw（20,000 世帯分）

真庭バイオマス集積基地

真庭木材事業協同組合 二つの工場で面積約 3.5ha

木質資源安定供給協議会 90 社（団体）が参加

関係者連携・情報共有によりバイオマス発電所への木質バイオマス資源の安定供給を目指す。

木質バイオマス・リファイナリー（マテリアル利用促進・木材の利用拡大）

真庭市バイオマスリファイナリー事業推進協議会を立ち上げ、民間によるセルロースナノファイバー等素材や製品の開発。

有機廃棄物資源化（生ごみ・し尿等液肥化事業）

生ごみ資源活用によるバイオマス循環を生かした「農業」の生産から流通までの新しい仕組みづくり（生ごみ等の資源化事業）
回る経済 地産地消 → 地産都市消

- ・生活しやすく品格のある都市

②人が暮らす風景と快適な住環境をつくる

持続可能な地域を担うのはヒト

経 済

課題：地域資源を活用した「回る経済」の確率

社 会

課題：環境に配慮した経済活動を行うことのできる人材育成

環 境

課題：地域エネルギー自給率100%、木質資源活用等による Co2 排出量削減

ゼロカーボンシティまにわ宣言

2022年に脱炭素先行地域に選定

- ・新たな取組（SDGs 未来都市・自治体 SDGs 事業）

③地方創生に向けた「SDGs」の推進（SDGs 未来杜社「真庭」）

自治体の SDGs 推進のための取組

- ・自治体 SDGs 推進事業費補助金

SDGs 達成に向けた事業実施

- ・経済、社会、環境の三側面の統合的取組による相乗効果の創出
- ・多様なステークホルダーとの連携
- ・自律的好循環の構築

*自治体 SDGs 推進関係省庁タスクフォースによる省庁横断的支援

真庭市の SDGs の取組（場づくり・人づくり）

- ・場づくり（真庭 SDGs 円卓会議）：マクロ的な真庭市全体の今後一年間の方向性を共有する場
- ・人づくり（真庭 SDGs ミーティング）：それぞれが具体的なアクションを考え、取組をブラッシュアップする場

↓

市民運動への拡大、SDGs の達成

↳ 真庭 SDGs パートナー（場づくり・人づくりのメンバー）

- ・真庭市の SDGs の取組に賛同し、パートナー宣言をした企業等

- ・環境、教育、福祉、医療、産業などあらゆるステークホルダーが登録

○ 企業版ふるさと納税（人材派遣型）

①制度概要

企業版ふるさと納税の仕組みを活用し、専門知識・ノウハウを有する企業の人材の地方公共団体等への派遣を促進することを通じて、地方創生のより一層の

充実・強化を図る。

●地方公共団体のメリット

専門的知識・ノウハウを有する人材が、寄附活用事業・プロジェクトに従事することで、地方創生の取組をより一層充実・強化することができる。
実質的に人件費を負担することなく、人材を受け入れることができる。
関係人口の創出・拡大も期待できる。

②導入するための課題

地方公務員として任用すること。

1. 地方公務員であるためには、給与を自治体が支払わなければならない。

↓

条例等の改正が必要ではないか？

2. 派遣される人材の自治体における身分をどうするか。

↓

常勤か非常勤（任期付き短期間勤務職員・会計年度任用職員）か

3. 給与や手当の設定をどうすべきか。

↓

派遣元での給与・身分や福利厚生などの設定はどうなるか？

③導入するための体制

1. 内部統制

- ・制度の周知を行い担当部署の設置
- ・寄附申出者との事業内容及び任用内容の協議

2. 協力機関

- ・制度を実施するにあたり関係機関との連携

3. 地方公務員の法体系の確認

*恵那市でも同じように広大な森林があるので、恵那市独自の森林施策を考える必要がある。笠岡地域で行っている木の駅プロジェクトなど森林活用を考えた整備を考える。

*企業版ふるさと納税（人材派遣型）については、恵那市ではいろいろな企業へ一方通行での派遣を行っているので、是非とも企業側からの人材派遣を要望します。

島根県美郷町 「美郷バレー構想・ジビエでまちおこし」

○ 美郷町の概要

平成16年10月 1日、邑智町と大和村が合併し「美郷町」誕生。

島根県のほぼ中央に位置し、その南北を中国地方最大の「江の川（ごうのかわ）」が貫流。緑豊かな山々に囲まれ、美しい自然風景が四季折々の姿を見せます。自然だけでなく、石見銀山街道や神楽、美肌温泉、山くじら、最先端のICT教育など、美郷町は「自然豊かで健康的」「歴史と伝統を大切にする」まちである一方で、「知恵があり、時代の最先端を走っている」まち。

面積 282.92km² 人口 4,355人 (男)2,080 (女)2,275
世帯数 1,844世帯

○ おおち山くじら物語

① 鳥獣被害対策の抜本的改革

- ・捕獲確認方法の見直し
- ・住民主体の組織の再編成

1999年、美郷町は農林水産省中国農業試験場が行っていた総合的な獣害対策の研究に調査研究フィールドとして協力するとともに、野生鳥獣から農作物を守ることを学ぶ。同時にそれまでの獣害捕獲体制を見直し、猟友会に依存した組織から、農家・住民を主体とした駆除班組織に再編成。狩猟を目的とする猟友会が中心の体制から、獣害削除を目的とする農家・住民の組織に変わること、主体性をもって自らの農地を守るという意識が促され、このことが補助金・猟友会・行政という3つの依存体質から地域から脱却する第一歩となる。

イノシシ駆除 邑智だけ急増（奨励金の増）

② 資源利活用

- ・夏イノシシ（駆除イノシシ）の資源利活用
- ・イノシシの生態搬送

イノシシの駆除期間は3月～10月までで、この期間に捕獲されるイノシシの多くは痩せて脂肪のない赤身の肉質のため、市場での商品価値がなく、ほとんどが埋設処理されている。本当に「夏イノシシ」には価値がないのかを確かめるため、2001年から近畿中国四国農業研究センターと共同で夏イノシシの肉質を分析した結果、高タンパク・低脂肪でヘルシーな肉であると判明。また、捕獲現場から食肉処理施設までイノシシを活かしたまま搬送する技術が開発され、適切に処理された安全なイノシシ肉を安定供給できるようになり、夏イノシシの商品価値も一層向上した。

③ 地域づくり・コミュニティビジネス

- ・農村女性の輝きと高齢者の活躍
- ・住民のたまり場創出

野生動物から農作物を守る学びの園場「青空サロン」や毎週水曜日の早朝に開かれる「青空サロン市場」の運営は地元のお母ちゃんたち農村女性に任されている。イノシシのなめし皮を使う、皮革製品創作グループの誕生。美郷町がある地域では、保育所やお店が閉まり住民同士が触れ合う場所が失われつつあり、その中で畑や市場、クラフト活動など、楽しみながら活動する「たまり場」が復活し、人と人・人と地域・人と暮らしの絆が紡がれていく。町外の人を魅了する山くじらの郷、最大の魅力は「農村女性の輝き」と「高齢者の活躍」である。

④ 定住・雇用・ローカルビジネス

- ・山くじら物語第4章の新たな主人公
- ・ローカルビジネスは町おこし

2004年、おおち山くじら生産者組合が設立されてから10年経過し、高齢化によって、この先の食肉利用が危ぶまれる中、(株)クイージが事情を汲んで美郷町に支店を構える。地域も山くじらに特化した地域おこし協力隊員を迎える。(株)クイージは閉所した保育所を山くじらの缶詰製造工場に再生

し、地域のカンフル剤となる。おおち山くじら生産者組合は、地域おこし協力隊の任期を終えて定住した若者たちが担い手となり設立した、(株)おおち山くじらに引き継がれる。山くじらの取組に定住・雇用によるローカルビジネスという地域活性化の柱が誕生する。

⑤ 美郷バレー構想

- ・新たな暮らしの革新が今始まる

シリコンバレーは、そこに行くと新しい技術や情報、人脈が手に入るといわれる世界経済をリードする中心地。分野こそ全く違うものの、「鳥獣害対策と住民の取組に関しては島根県美郷町に行けば新しい技術や情報が入り、人脈も広がる」という思いから、日本をリードする「鳥獣害対策版シリコンバレー」、すなわち産官学民が自発的に集い、互いが刺激合って地域活性化の革新につなげていく環境の場として「美郷バレー」がある。

地域づくりに同じ思いや理念、互いに共感した産官学民の仲間が個々の専門分野にとらわれることなく、分野の既成概念を超えた知恵や発想を共有しながら具現化し、その輪がさらに広がって地方と都市の新たな価値観を創造する。

ヒト・モノ・カネ・情報の集まる環境から起こる化学反応



革新（美郷バレーから始まる、新しい地域おこしの創造）

*明智町に食肉処理施設が作られているので是非とも美郷町の「美郷バレー構想」を担当部署で研修をしてほしい。猟友会が考える狩猟、農家が思う獣害駆除、ジビエとして食するためのお店、いろいろな考えがあると思われるが美郷町のような先進地があるのでノウハウを活かしてほしい。

兵庫県豊岡市 「移住定住施策・観光 DX」

○ 豊岡市の概要

2005年 4月 1日、兵庫県の北東部に位置する1市5町（豊岡市、城崎町、竹野町、日高町、出石町、但東町）が合併。

北は日本海、東は京都府に接し、中央部には円山川が悠々と流れ、海岸部は山陰海岸国立公園、山岳部は氷ノ山 後山那岐山国定公園に指定され、多彩な四季を織りなす自然環境に恵まれている。2005年9月には、国の特別天然記念物・コウノトリが放鳥され、今では日本の野外に300羽以上のコウノトリが暮らしており、人里で野生復帰を目指す世界的にも例がない壮大な取組みが着実に進んでいる。産業は、農林水産業、観光業などが盛んです。特に観光業では、全国的に有名な城崎温泉をはじめ、西日本屈指の神鍋高原スキー場、但馬の小京都・出石城下町などを有し、年間を通じて多くの観光客が訪れる。また、地場産業としては、全国の4大産地の一つである「かぼん」や出石焼などの生産が行われている。

- ・ 人口 77,489人（令和2年国勢調査）
- ・ 世帯数 30,180世帯（令和2年国勢調査）
- ・ 人口密度 111.1人（1平方キロメートルあたり）（令和2年国勢調査）

- ・ 高齢化率 34.3% (令和2年国勢調査)

○ 移住定住施策

① 若者の転出超過

年齢階層ごとの転入転出の状況を見ると10代で大幅な転出超過となり20代では転入超過となっている。さらに男性よりも女性の回復率が大幅に低いこと。10代で転出した人のうち20代の男性は半数が豊岡へ帰っているが女性は4人に1人しか帰ってきていない。

↓

豊岡市の地方創生戦略の柱は若者や女性にとって暮らす価値を高めること。

② 人口減少の緩和と緩和策を通じた地域活力の維持

若者が地方を去り大都市へと流れる背景に、「社会的・経済的・文化的に豊かな大都市と貧しい地方」という強いイメージがあることが指摘されている。のみならず、「地方は 貧しく、つまらない」というそのイメージは、現に地方に住んでいる人々をもとらせ、自らのまちに対する誇りの空洞化と活力の低下をもたらしてきたことも指摘されている。豊岡についても同様のことが言える。換言すると、大都市に暮らす価値との比較において、豊岡に暮らす価値が選ばれていないことを意味する。したがって、大都市に暮らす価値に対抗しうる突き抜けた「豊岡に暮らす価値」を創りあげていくことが不可欠。人と人、人と自然など「つながり」の希薄な大都市の暮らしに「空虚さ」を感じ、「つながり」を実感できる地方の暮らしに「豊かさ」を見て取る若い人たちが増えていることも報告される。地方には、農林水産業や伝統産業など地方でこそできる仕事に加え、ICTの浸透によって地方でもできる仕事が増えつつあり、仕事も含めた、大都市とは別の豊かさを実感できる、成熟したライフスタイルの展開可能性が広がっている。豊岡でも全く同様のことが言える。グローバル化の進展も大きな可能性をもたらしている。グローバル化の特徴の一つは、世界に同じ基準を適用して、世界を同じ商品、同じ店舗、同じ景色で満たしていくことにある。グローバル化の進展によって、急速に世界が同じ顔になりつつある中で、逆に、ローカルであること、地域性・固有性が輝くチャンスを持ち始めている。ICTの発達によって、地方も直接に世界の人々と結ばれることが可能になった今、地方における「豊かな暮らし」と「やりがいのある仕事」の可能性が出てきている。

③ 多様性を受け入れるまちづくり

1. 女性に選ばれるまち (ジェンダーギャップの解消)

若い女性の減少は、更なる少子化をもたらし、まちの存続自体に大きな影響を及ぼす。近年の研究では、出生率の増減と子どもの数の増減は、ほとんど関係はなく、女性の社会増減と子どもの数の増減には、かなり強い相関関係があるとも言われる。若い女性の回復率は、男性に比べ低くなっている。若い女性たちに選ばれていないのか。そこには、豊岡が男性中心の社会であることに原因があると考えられる。ジェンダーギャップの解消は喫緊の課題であり、いきいきと暮らす女性を増やす取組みを進めるとともに、さらに多くの若い女性を呼び込む施策を展開していかなければならない。

2. 外国人市民との共生推進

近年増加傾向にある外国人市民を人口減少社会におけるコミュニティの一員として受け入れ、共生する施策を実施していく。

・深さをもった演劇のまちづくり

演劇のまちづくりは、豊岡に暮らす突き抜けた価値を創りあげるために必要なものである。これまでの取組みにより、城崎国際アートセンターは、世界中から人々を集め、芸術文化観光専門職大学を誘致した。演劇は、まちの魅力を高め、人々をひきつけるとともに、教育・療育分野など様々な場面で新たな可能性が広がっている。

アーティストクリエイター 移住37人（家族含み54人）

↓

芸術文化観光専門職大学との連携

- ・2021年4月に開学した芸術文化観光専門職大学は、文化・観光分野において、優れた教師陣と強い目的意識をもった学生が学ぶ拠点となり、それらの学生や大学の活動によって、まちの魅力がさらに高まることが期待される。地域における専門職大学の可能性を最大限に活かすため、専門職大学との連携を進めていく。同大学と連携した取組みの一つとして、児童・生徒のコミュニケーション教育を進め、多様な価値観と自己決定力を身につけた次世代を育成する。併せて、専門職大学で学んだ学生が、引き続き豊岡で働き、定住するよう、地域と一体となった取組。

・カバンアルチザンスクール

90人が卒業 50人（56%）が市内企業へ就職

④ 飛んでるローカル豊岡

- ・移住の総合サイト = アクセス数 73, 286件（2022年最高）
- ・但馬宅建業協会と締結 = 市内の民間不動産会社が仲介

↓

2016～2022年度 売買物件192件 賃貸物件74件

・地域おこし協力隊

現役隊員 45人（内40%が空き家等に居住）

委託方法 DX化 ⇒ 活動円滑・事務効率

移住スカウトサービス SMOUT を活用

○地域おこし協力隊採用計画の立て方

どんな活動を、誰とやるのか → 具体的に

募集担当チームはまちの人事部という意識で

「受入れ団体（受入れ課）とのコミュニケーションに時間をかけて」

課題解決 ハードル高く少しネガティブ、価値創造は夢がありポジティブ

○ミスマッチを防ぎ集客と採用ポイント

応募者数を増やす（SMOUT を活用）

選考には手間を惜しまない

お試し協力体制度を柔軟に活用

* 恵那市においても、各地域では担い手や人材の不足が激しく進んでいる。まちづく

りでは、地域おこし協力隊の人材が本当に必要である。しかし現在の恵那市での地域おこし協力隊は0人で是非とも豊岡市を担当部署で研修をしてほしい。また、大学と連携した取組みの一つとして、児童・生徒のコミュニケーション教育を行っているが、以前に東京研修を行いホリプロの鈴木さんの話を聞いたがコミュニケーション教育について同じような考えを言われた。恵那市に役者養成学校を開設しコミュニケーション教育を行ってはどうかと言っていた。

○ 豊岡市の観光施策（観光 DX）

① 豊岡観光イノベーション

2016年6月1日 一般社団法人 豊岡観光イノベーション 設立

↓

観光まちづくりの観点から、地域の関係者の力を結集し、顧客視点に立ち、地域の魅力を再編集して、地域の稼ぐ力を引き出し、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。

・来訪者の増 ・滞在日数の増 ・消費額の増 ・観光まちづくりの参加者増

② 豊岡観光イノベーションの主な業務

● 誘客・周遊に関すること

海外・国内プロモーション、周遊促進施策

● DX・受け入れに関すること

データ収集・分析／観光 DX 推進、商品開発・受入環境整備

*豊岡観光イノベーションには、プロパー職員5名、市職員派遣5名と大所帯で取り仕切っている。恵那市のジバスクラムも職員派遣は3名となっているが、1名が地元のロマン亭一本で協調性が取れていない。また、プロパー職員の育成が重要と考えるが、地域おこし協力隊の利用もありではないか。このあたりを担当部署と検討を行っていきたい。